

実際に乗ってみました新聞

大阪教育大学附属
天王寺小学校4年
田中 知嘉
8月13日

全国各地の駅や鉄道では、みんなが気持ち良く使えるための工夫がたくさんあるよ。

ホームドア

可動式・フルスクリーン式・昇降式・スマート式ホームドア

駅にはホームが狭くなっている部分がよくあります。その部分は線路に落ちてしまう危険があります。車いすなどが通ると、とくに危険です。ですから最近よく駅にホームドアがついています。じつはホームドアには種類があります。大きく分けて4種類となっています。1つ目が可動式です。可動式はよく見かける一般的なタイプですが、安全性は他のタイプに比べて低いです。2つ目が、フルスクリーン式です。完全に密着するので、安全性は最も高いです。手荷物の落下を防ぐ役割もします。特に地下鉄で多く採用されています。3つめは、昇降式です。ロープが上下して開きます。開口部が広いので、多くの車両に対応できます。最後が、スマート式です。可動式と動きは同じですが、可動式よりも軽いので良いとされていました。が、小さな子どもがホームドアの下を通ると危険と考えられ、改良を重ねているホームドアです。



ドアでふさがれていない所も多いので危険なところもあります。

この可動式ホームドアはよく見かけますね。

大阪環状線のホームドアの近くには、発車メロディを鳴らすボタンがあります。

超低床路面電車

岡山路面電車（岡電）

MOMO（9200形）

2022年7月5日に運行を開始した100%超低床式路面電車です。電停との段差がなく、ドアも大きいので車椅子でもスムーズにのれます。車内には、車椅子スペースをもっている。席にはテーブルもある。路面電車とは思えません。岡山路面電車では、地面に線が書かれただけの電停があります。その電停でも、乗りやすくなるために、車輪を車内の椅子の中に入れて床を低くしています。他の車両には、電停から車内までの間に段差がありますが、MOMOだけが超低床車です。



車内清掃中のMOMO（上）と車内（下）

「やさしば」

近畿日本鉄道（近鉄）

8A系

2024年10月7日に運行を開始した新型一般車両です。行き先表示板に、漢字・英語の他ひらがなで表示されるので、漢字が分からなくても読める仕組みになっています。一面に2つ「やさしば」がついています。「やさしば」は、進行方向にすわることも、窓を向いてすわることでもできます。床にストッパーがついているので、ここに、スーツケースのキャスターをはめておけば動かない仕組みになっています。

また、今後の8A系は、近鉄初のお手洗いを設置する予定となっています。現在は難波・奈良線・京都線・橿原線で走っている8A系ですが名古屋線や南大阪線・大阪線などでも走る予定です。



広島駅2階に乗り入れ

広島路面電車（広電）

駅前大橋ルート

2025年8月3日に広島駅の2階に路面電車が乗り入れました。JR中央改札口から最短70秒で路面電車のホームに着くくらい近くまで乗り入れました。実は、もう2ついいことがあります。1つは、稲荷町電停で4分、比治山下電停で約5分短縮しました。2つ目は、広島電停の乗り場が2カ所から4カ所に増えました。各系統別に運用するので、どの電車にのるかが分かりやすくなります。また駅前大橋ルートのための「稲荷町」「松川町」の地上電停も新しく整備され、バリアフリーで快適な電停となる予定です。



鉄道のバリアフリーの電車に乗ってみてホームドアは、よく見かけるようになったので、「あっ ホームドアだ」で終わっていたけれど、調べてみると、ホームドアにはいろいろな種類があってバリアフリーの面でも役立っている。

MOMOは床が低いのでバリアフリーの面でも役立っている。ふつうの人にとっても、車内にテーブルがあったりするので、どちらの面でも優しい路面電車だった。